

学びのイノベーション事業 授業実践報告 様式

学校名：和歌山市立城東中学校

| 授業の概要 |
|--|
| 授業日時・学年・教科・単元名等 |
| 授業日時：平成 25年 4月 18日 1時間目 学年：2・3年のぞみ学級 教科：社会 単元名：日本の諸地域 ICT支援員によるサポート <input type="checkbox"/> 授業中 <input checked="" type="checkbox"/> 事前 |
| 単元・題材の目標 |
| ・都道府県の位置を覚える |
| 単元全体の流れ |
| ・都道府県の形や位置を覚える ・各地方の県庁所在地や特色を多面的に考察する |
| 本時の中心となる授業形態 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習 |
| 本時の目標（評価の観点） |
| ・興味を持って、日本地図の作成に取り組んでいるか |

| 情報通信技術の活用 |
|--|
| 活用した場面 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 活用した者 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 教員 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒 |
| 活用する目的 |
| <input type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 興味・関心の創出 <input type="checkbox"/> 目的や目当ての明確化 <input type="checkbox"/> 教員の説明 <input type="checkbox"/> 生徒による説明 <input type="checkbox"/> 繰り返しによる定着 <input type="checkbox"/> 典型例の提示 <input type="checkbox"/> 創作活動 <input type="checkbox"/> 失敗例の振り返り <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> 生徒同士の教え合い <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 活用したコンテンツ |
| i p a d アプリ 日本パズル 日本クイズ |
| 活用した機器 |
| <input checked="" type="checkbox"/> IWB <input type="checkbox"/> タブレットPC <input type="checkbox"/> 実物投影機 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ i p a d ） |

※情報通信技術の活用のうち、本時におけるポイントとなる活用について主なものを回答すること。

1. 本時の展開

| 学習の流れと子どもの活動 | 指導・支援のポイント | 使用した機器やコンテンツ |
|---|---|------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ ipadで日本パズル ・ ipadで日本クイズ ・ クイズやパズルで出てきた都道府県から7つ漢字で書き出す ・ 再度、書き出した都道府県の位置を確認する | <ul style="list-style-type: none"> ・ ipadの使い方と時間を気にして取り組みが出来るようにする | i p a d I W B |

<協働学習の実施状況>

- 生徒が相互に教え合う場面があった 数名が一緒に学び合う場面があった
 数名が協力したり助け合ったりする場面があった 数名が話し合う場面があった
 一人が発表したことについて学級全体で考える場面があった
 同じ問題について、学級全体で話し合う場面があった
 ネットワークを使って遠隔地と結んで学ぶ場面があった

2. 情報通信技術の活用のねらいと効果

(1) 活用のねらい

- ・ 興味関心を持って、ゲーム感覚で取り組む

(2) 活用により期待される効果

- ・ 視覚的に素早く取り組むことが出来る

3. 実践上の課題 c

※本報告は、2頁を超えて作成しても構わない。

※本報告とあわせて、授業の動画や写真を提出する際は、W e bでの公開など

広く使用されることも考えられることから、保護者の了解を得るなど必要な対応を行うこと。